

外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会(平成 30 年度第 2 回) 議事要旨

- 1 日 時 平成 30 年 10 月 9 日 (火) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
- 2 会 場 外環オープンハウス三鷹常設会場 (三鷹市北野 3-6-1)
- 3 出席者 19 人
- 4 概 要

冒頭、会長より外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会のきまり第 8 条 (会議) に基づき、今回は協議会の内容が現場視察のみであり、また、現場内での見学者の安全を確保するため、非公開とする旨の承認を求める提案があり、連絡協議会において承認された。その後、外環工事現場視察を行った。また、その他として、白百合学園通りにおける通行止めについてお知らせした。

併せて、次回の連絡協議会は平成 31 年 1 月から 2 月頃に開催を予定していることをお知らせした。

5 会議内容

(1) 外環工事現場視察について (資料 1)

ア 説明概要

市より、外環工事現場視察について、視察場所の確認と工事概要について説明し、現地にて視察を行った。

イ 意見・要望

○外環事業全体としての進捗率はどのくらいか。

→ (市) 中央ジャンクション (仮称) の用地買収については、国のホームページで約 9 割終了していることが公表されている。

→ (国) 本線トンネル等の他の工事とも関連する内容であり、外環事業全体の工事進捗率を示すのは難しい。

○外環本線の進捗はどうか。どのくらいの距離を掘進しているのか。

→ (市) 事業者のホームページにおいて、本線シールドマシンは、現在、東名ジャンクションより事業地内において、約 300m 程度掘進していることが公表されている。まだ後続台車の設備等を準備している段階で、事業地外への本格的な掘進はしていないと聞いている。

○本線シールドマシンの本格掘進が始まると、三鷹市域へ到達するまで、どの程度かかるのか。

→ (市) 実際に本格掘進が始まれば、約 1 年半程度で三鷹市域まで到達する予定と平成 29 年 2 月の工事説明会で説明があった。

○先の台風の際に、工事現場の仮囲いが倒れそうになっていた箇所があったが、どういう状況だったのか。また、他の現場では、台風による影響はあったか。

→ (国) 台風 24 号の強風による影響で、工事現場の仮囲い上部の一部が少し外れて倒れそうになった事象があった。台風時には現場作業員が常駐していたため、応急的な措置を講じ、早急に修復した。なお、他の工事現場でも、台風による影響はなかった。

(2) その他

ア 説明概要

市より、前回の連絡協議会にていただいたご意見・ご指摘への対応について説明した。また、現在、白百合学園通りで行っている通行止めについてお知らせした。

イ 意見・要望

○白百合学園通りの通行止めのお知らせ看板の位置について、さらに手前の位置で表示してもらわないと、分かりづらい。

→ (ネクスコ中日本) 対応を検討する。

○中央道と交差する道路全般について、高架下が暗いため、対応してほしい。

→ (市) 確認し、事業者と対応を協議する。